

「安心のお寺診断」ガイドブック

ー 社会と生活者に求められる安心のお寺づくり

(一社)お寺の未来

(一社)お寺の未来総合研究所



「安心のお寺診断」の趣旨	P3
ワーク: 自坊の強みの発見(「安心のお寺診断シート」の活用)	P8
ワーク: 自坊の将来像・取り組みの検討	P23
(参考)お寺の未来のご紹介	P26

お寺の未来は、檀信徒を含めた多くの生活者が、「安心」を感じることができる良きお寺のあり方を一貫して探求しています。

そして、様々な定量・定性情報(※)による多面的な視野から検討・分析を重ね、安心を提供する良きお寺の要件として「安心のお寺10ヶ条」を具体化しました。各条項は合計で100を超える視点によって構成されています。

※「様々な統計データから見える社会変化」「寺院・僧侶に関する生活者の意識調査(2016年12月実施)」「お寺360度診断®による全国約3,000名の生活者の声」「500ヶ寺を超える寺業計画書®」等

「安心のお寺10ヶ条」が日本仏教界の発展に資することを願い、「安心のお寺診断」を開発し、無償公開します。本診断はWEB版(<https://diag.omri.jp>)もご用意しており、全国平均との比較で、自坊の立ち位置を確認できます。

また、本書には「ワークシート:強みを活かした自坊の将来像・取り組みの検討」も掲載しておりますので、診断結果から得られたご自坊の特徴をふまえ、ぜひご自坊の将来像検討にもご活用いただければ幸いです。

「安心のお寺診断」が一助となり、それぞれのお寺が強みや独自性を発見し、その良さに根ざして「安心のお寺」づくりを推進することを通じ、多様性に溢れる日本仏教が次代にも引き継がれていくことを心から願います。

【「安心のお寺」に込めた意味】

私たちは、生活者がお寺との関係性から得ることができる「安心」に、次の意味を込めています。

- 世俗的価値観から離れ、自らにめぐるご縁の豊かさに気づく
- 様々な営みを通じて、人と人が支え合いの中につながり、利他の生きがいを感じる
- 無理のない長期的なお付き合いの中で、人生の節目や有事に頼ることができる一つの拠り所を得る

多くの寺院の発展に向けて、広く活用していただきたいという願いの下、本診断は無償公開しております。

従いまして、「本書」や「安心のお寺診断」の考え方・手法、それに準じる内容を、宗派・各地域の研修会・勉強会等で使われる際には、著作者として「**お寺の未来**」という名称をご明示いただければ、特段の許諾・報告等は不要です。

これからの良きお寺づくりのために、様々な機会で積極的にご活用いただければ幸いです。

また、本診断に関するご感想やご意見などがありましたら、改善の参考とさせていただきますので、ぜひよろしく願いいたします。

安心のお寺10ヶ条は、3つの視点を重視して具体化しました

生活者視点に立脚

有縁の人は、檀信徒以前に一人の生活者です。お寺が価値ある存在として次代に継承されていくためには、生活者視点に立ったお寺づくりが大切です

社会環境変化を意識

加速度的に社会の変化が速まる中、取り組むべき機会や備えるべき脅威を明らかにした上で、寺院運営を推進していくことが重要です

お寺の本来機能を重視

社会環境変化が速いからこそ、奇抜性・新規性にかたよらず、お寺が伝統的に培ってきている本来機能を、現代的な文脈にあわせて磨き上げることを重視しています

理念

第1条: 確固な理念・方針

お寺が世の中や人々にどのような価値を提供するかという使命と、その使命を実現する方策が明確になっている

人財

第2条: 仏教・寺院運営に真摯な僧侶・スタッフ

仏教の味わいを伝える確かな信仰・見識・技法・包容力を備えた僧侶と、協働して寺院運営に取り組む、寺族などのスタッフが

第3条: まごころの弔い(葬儀・法事・お墓)

受け手の視点に立ち、亡き人とのつながりを感じられる、心のこもった丁寧な弔いの儀礼を執り行っている

第4条: 充実したエンディングサポート

良き死を迎えるための学びや支援の仕組みが整っている

提供価値

第5条: 仏教の智慧に触れる祈り・体験の場

仏教の豊かな智慧に触れられる、法話会、坐禅会、写経会、祈願・祈禱をはじめ、様々な法要や仏教体験が充実している

第6条: 活発なお寺コミュニティ

年齢・性別・社会的立場を超えて檀信徒や地域社会の人々が集い、様々なテーマで活動し相互のご縁を深めている

第7条: 慈悲の社会福祉活動

困難な境遇にある人々や様々な社会的課題に対し、未来志向で温かい支援の手を差し伸べている

運営基盤

第8条: 整った施設・設備

気持ちよくお参りできるよう本堂・境内・墓地等が掃き清められ、宗教空間の品格と雰囲気を整えている

第9条: 財務の安定性

長期にわたって健全な運営を実現し、檀信徒への経済負担を抑えられるよう、安定した財務管理が行われている

第10条: 堅実な管理運営

宗教法人としての法令順守は当然のこと、様々な規約の整備や、情報管理の体制が整っている

ワーク: 自坊の強みの発見 (「安心のお寺診断シート」の活用)

【安心のお寺診断シートの目的】

強みを活かした自坊の将来像具体化に向け、多面的な視点から自坊の強みを明らかにすること

STEP1:あてはまる項目をチェック

- 「安心のお寺診断シート」の項目と自坊を照らし合わせ、ご自身の主観でけっこうですので、あてはまる項目をチェックしましょう。前向きに◎○をたくさん見つけることを心がけてください
(※WEB診断(<http://diag.omri.jp>)の際にも、事前に本診断シートでの検討をおすすめします)

STEP2:強みの発見

- ◎○が多くあてはまった条項や中分類は強みや独自性と言えます
- 特に強みが多く見つかった条項や中分類は、今後もお寺を支えるものですので、「ワークシート: 自坊の将来像・取り組みの検討」(P24)を活用し、将来像を検討してください

第1条: 確固な理念・方針 1/2

定義 お寺が世の中や人々にどのような価値を提供するかという使命と、その使命を実現する方策が明確になり、社会に共有されている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
自坊の縁起の理解	1	ご本尊の願いの翻訳	ご本尊(仏さま)の願いを、現代の人々にも通じる内容として、適切に翻訳できている					
	2	縁起・寺史の明確化・咀嚼	お寺が長年歩んできた縁起・寺史が明確に整備され、その意味合いが現代にも通じる内容として咀嚼されている					
社会環境・生活者理解	3	生活者理解	お寺の方向性(寺業計画)の検討にあたり、受け手(檀信徒や地域住民)の声や期待を、真摯に傾聴している					
	4	社会環境理解	お寺の方向性(寺業計画)の検討にあたり、お寺を取り巻く地域や社会環境の変化を数値データもまじえて把握に努めている					
寺業計画の具体化	5	使命の具体化	ご本尊の願いやお寺の縁起、受け手の声をふまえ、社会におけるお寺の存在意義を示した使命が具体化している					
	6	ビジョンの具体化	お寺として、数年後の大きな目標となるビジョンが具体化している					
	7	行動計画の具体化	使命やビジョンに沿った行動計画が具体化している					
寺業計画の共有	8	寺業計画の共有(寺内)	寺業計画(使命・ビジョン・行動計画など)が寺族・スタッフと十分に共有されている					
	9	寺業計画の共有(責任役員・総代)	寺業計画(使命・ビジョン・行動計画など)の進捗や内容に関して、責任役員・総代等との意見交換を行なっている					
	10	寺業計画の共有(檀信徒)	寺業計画(使命・ビジョン・行動計画など)の進捗や内容に関して、檀信徒に広く共有されている					
寺業計画の推進	11	寺業計画の振り返り	寺業計画(使命・ビジョン・行動計画など)の進捗に関して、寺内で定期的な振り返りを行なっている					
	12	寺業の見直し	社会や人々の変化を見極めながら、既存の寺業の見直しと発展に努めている					
	13	寺業の創造	社会や人々の変化を見極めながら、新たな寺業の創造・開発に挑戦するよう努めている					

第1条: 確固な理念・方針 2/2

定義 お寺が世の中や人々にどのような価値を提供するかという使命と、その使命を実現する方策が明確になり、社会に共有されている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
情報発信	14	寺報の発行	読み手の求めを意識した上で、お寺の理念や目指す方向性、様々なお寺の取り組みを伝える寺報を発行している					
	15	パンフレットの作成	参詣者が持ち帰られる、お寺の縁起・理念・魅力等が分かりやすく記載されたパンフレットを備えている					
	16	インターネット発信	ホームページ等、インターネットを通じた情報発信に取り組んでいる					

第2条: 仏教・寺院運営に真摯な僧侶・スタッフ 1/2

定義 仏教の味わいを伝える確かな信仰・見識・技法・包容力を基盤に、寺院運営へ真摯に取り組む僧侶と、その営みを細やかに支える寺族をはじめとしたスタッフがいる

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
信仰者の自覚	17	信仰の問い直し	僧侶・寺族が自らの信仰を問い直す機会や行為を大切にしている					
	18	僧侶・寺族の規範	聖性が重んじられる宗教空間を預かる僧侶・寺族としての規範を大切にしている					
儀礼・教学等の研鑽	19	日常勤行	僧侶が朝・夕の勤行を欠かさず行っている					
	20	儀礼の研鑽	僧侶が読経や作法など儀礼の研鑽に努めている					
	21	伝わる法話の研鑽	僧侶が「伝わる」法話の研鑽に努めている					
	22	布施行の率先	僧侶・寺族が率先して布施行(他者や社会への奉仕)を心がけている					
	23	仏教の学習	僧侶は、自宗派の教義・教学、ならびに、仏教の様々な知識を積極的に学んでいる					
他宗教・現代社会の理解	24	他宗派の理解	僧侶は、他宗派の特徴について、具体的な交流を通じて、基礎的な理解を深めるよう努めている					
	25	他宗教の理解	僧侶は、世界の様々な宗教(主に神道、キリスト教、イスラム教)について、基礎的な理解を深めるよう努めている					
	26	教養の涵養	僧侶は、古典をはじめとした幅広い教養を積極的に学んでいる					
	27	社会・時事の理解	僧侶は、現代社会の時事動向や、社会の仕組みなどを積極的に学んでいる					
	28	現代における仏教の役割理解	僧侶は、様々な学びと行動を通じ、現代において仏教が担う役割・意義を積極に見出している					

第2条: 仏教・寺院運営に真摯な僧侶・スタッフ 2/2

定義 仏教の味わいを伝える確かな信仰・見識・技法・包容力を基盤に、寺院運営へ真摯に取り組む僧侶と、その営みを細やかに支える寺族をはじめとしたスタッフがいる

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
コミュニケーション・受容	29	傾聴	僧侶・寺族は、有縁の人々の求めや悩みに積極的に傾聴し、受け止めている					
	30	温かな接遇	僧侶・寺族は、来訪者への対応や電話口の話し方は和顔愛語の下、丁寧で親切である					
	31	日常コミュニケーション	僧侶・寺族は、檀信徒や地域住民をはじめ、有縁の人々との日常的なコミュニケーションを大切にしている					
	32	檀信徒情報等の寺内共有	僧侶・寺族は、檀信徒や地域住民とのコミュニケーションの状況や情報を、寺内で適切に共有し合っている					
寺院運営	33	寺院運営への積極関与(僧侶)	僧侶は、寺院運営に真摯かつ熱心に取り組んでいる					
	34	寺院運営への積極関与(寺族)	寺族やスタッフは、寺院運営に真摯かつ熱心に取り組んでいる					
	35	寺院運営に資するスキルの研鑽(僧侶)	僧侶は、現代における寺院運営に必要なスキル・技法を積極的に習得している					
	36	寺院運営に資するスキルの研鑽(寺族)	寺族やスタッフは、現代における寺院運営に必要なスキル・技法を積極的に習得している					
お寺を支える人財の育成	37	評価・感謝	住職などお寺のリーダーが、寺庭婦人(もしくは坊守)や寺族の役割・貢献を積極的に評価し、具体的に感謝を示している					
	38	成長機会の提供	お寺の次世代を担う僧侶・寺族への成長機会の提供や、成長につながりうる縁を整えることに努めている					
	39	後継者	お寺の次世代を担う後継者が定まっている					

第3条:まごころの弔い(葬儀・法事・お墓)

定義

受け手の視点に立ち、亡き人とのつながりを感じられる、心のこもった丁寧な弔いの儀礼を執り行っている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
受け手視点の法務	40	臨終の場への駆けつけ	枕経など故人の臨終の場への駆けつけと、その場を通じた遺族とのコミュニケーションを大切にしている					
	41	遺族要望への柔軟な対応	葬儀・法事のあり方は、お寺側の方針をふまえつつ、遺族の要望に対応している					
	42	儀礼の意味の伝達	葬儀・法事では式次第などをはじめ、法要や儀礼の意味を分かりやすく伝える工夫をしている					
	43	故人を意識した演出	葬儀・法事では、故人の思い出やエピソードを語り、故人の人となりを反映した演出を工夫している					
	44	伝わる法話の励行	葬儀・法事では、受け手に「伝わる」ことを意識した法話を心がけている					
	45	戒名(法名)の分かりやすい伝達	葬儀では戒名(法名・法号)の意味を分かりやすく伝えている					
	46	参列者とのコミュニケーション	葬儀・法事では、参列者の一人ひとりをよく知るため、施主以外の人でもできる限り積極的にコミュニケーションするよう努めている					
	47	お参りの奨励	遺族の心情・状況に配慮しながら、七日七日のお参りや月忌参りなどを積極的に奨励している					
	48	お寺葬の推進	お寺(本堂、広間、寺内の会館)での葬儀を積極的に推進している					
グリーフケアの推進	49	家庭での日常的な仏事への助言	家庭での日常的な弔い・祈り・供養のあり方など、受け手の状況や制約も意識した現実的な助言を行なっている					
	50	グリーフケアの研鑽	グリーフケア(死別の悲しみなどを抱えた人への寄り添い)の知識・技法の習得に努めている					
埋葬形態の整備	51	グリーフケアの実践	グリーフケアの知識・技能を活用し、葬儀・法事をはじめ、様々な場面で実践している					
	52	墓地・納骨堂の整備	現代社会の家族形態の多様化にあわせた、お墓(含む永代供養墓)や納骨堂の整備に取り組んでいる					
	53	墓地規約の整備	墓地(納骨堂)管理規約が整備されている					

第4条：充実したエンディングサポート

定義

良き死を迎えるための学びや支援の仕組みが整っている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
終活機会の提供	54	エンディング情報の収集	現代のエンディングを取り巻く社会状況や諸問題に関して、適切な情報収集に努めている					
	55	終活セミナー等の実施	檀信徒が良き死を迎えられるよう、自らの臨終や死後のこと等を考えるセミナーや勉強会などを開催している					
	56	生前相談	檀信徒からの葬儀の事前相談など、死を取り巻く様々な悩みの相談に積極的に応じている					
専門家との連携	57	専門家との連携	エンディングに関わるNPOなど、各種団体・専門家との連携を深めている					
	58	士業の紹介	檀信徒の安定的な相続をサポートするため、行政書士・税理士などの信頼できる士業を紹介している					

第5条: 仏教の智慧に触れる祈り・体験の場

定義

仏教の豊かな智慧に触れられる、法話会、坐禅会、写経会、祈願・祈祷をはじめ、様々な法要や仏教体験が充実している

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
法要・仏教体験の提供	59	行事・法要の開放	お寺が伝統的に営んでいる行事・法要(法話会、坐禅会、写経会、祈願・祈祷など)を、檀信徒や地域住民に積極的に開放している					
	60	縁日への取り組み	仏さまの縁日にちなんだ行事に積極的に取り組んでいる					
	61	多様な講師の招聘	自宗派のみならず、様々な講師を招いて仏教の豊かな智慧に接する機会を様々な設けている					
仏教の智慧を伝える工夫	62	伝え方の磨き上げ	現代の人々に、仏教の智慧が適切に届く形や方法論を、様々な工夫・挑戦している					
	63	法要運営の工夫	檀信徒や参詣者の要望や変化をふまえ、伝統的な法要の営み方を工夫している					

第6条：活発なお寺コミュニティ

定義

年齢・性別・社会的立場を超えて、檀信徒や地域社会の人々が集い、様々なテーマで活動し、相互のご縁を深めている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
仏縁が深まる コミュニティ活動	64	慶事への取り組み	人生の節目を祝う慶事(初参り、七五三、結婚式、金婚式など)に積極的に取り組んでいる					
	65	季節行事への取り組み	季節の節目の行事(花祭り、お月見、節分など)に積極的に取り組んでいる					
	66	子ども世代への取り組み	子ども世代を対象とした活動に積極的に取り組んでいる					
	67	テーマ活動	檀信徒や地域住民が集う、講をはじめとした特定テーマのコミュニティ活動が行われている					
	68	境内施設の提供	地域住民やNPOなどの活動に境内施設を積極的に提供している					
	69	開放的な文化	寺族・総代・檀信徒に、外からの新しい風を前向きに受け入れる、開放的な文化・風土が醸成されている					
	70	供物	檀信徒から仏さまへのお供物が積極的に供えられている					
コミュニティ活動を支える基盤づくり	71	檀信徒の運営参画	総代会や世話人会が定期的で開催され、お寺での様々な催しや取り組みについての検討・企画が行われている					
	72	檀信徒における相談相手	お寺の将来について忌憚なく話し合い、相談相手となる檀信徒がいる					
	73	現在帳の整備	檀信徒のみならず、有縁の一人ひとりを良く知るための現在帳が整備されている					
	74	護持会規約の整備	護持会規約(檀信徒規約)が整備されている					

第7条: 慈悲の社会福祉活動

定義

困難な境遇にある人々や様々な社会的課題に対し、未来志向で温かい支援の手を差し伸べている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
社会福祉活動の見定め	75	社会の苦に関する情報収集	社会の様々な問題や苦しみなどについて、お寺としてアンテナを張り、情報収集に努めている					
	76	お寺としての活動テーマ設定	お寺として取り組む社会福祉活動を明確にしている					
有縁の人々の巻き込み	77	有縁の人々の巻き込み	お寺として取り組む社会福祉活動を、檀信徒や地域住民を巻き込み推進している					
	78	寄付の呼びかけ	お寺として取り組む社会福祉活動への善意の寄付を、檀信徒や地域住民に積極的に呼びかけている					
	79	啓発の推進	社会の様々な問題や苦しみなどを共有する機会の提供や情報発信を行ない、檀信徒の慈悲心の涵養を促している					

第8条：整った施設・設備

定義

気持ちよくお参りできるよう本堂・境内・墓地等が掃き清められ、宗教空間の品格と雰囲気を整えている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
境内空間の 荘厳・維持	80	仏さまの荘厳	ご本尊をはじめ、仏さまが丁寧に荘厳されている					
	81	境内清掃の徹底	参詣者が気持ちよくお参りできるよう本堂・境内・墓地等の清掃に努めている					
	82	墓地の整理整頓	墓地の枯れた花が片づけられ、水場は整理整頓されている					
	83	境内空間での公私の区分	境内・客殿など、お参りの人の目につく空間に、寺族の生活空間がはみ出していない					
快適なお参り 環境の整備	84	案内表示の整備	お寺内外の誘導・案内の表示が適切に整っている(来訪時にどこを訪ねればよいか分かりやすい)					
	85	バリアフリー対応	高齢者や障害者も気持ちよくお参りできるよう、バリアフリー対応が充実している					
	86	冷暖房設備	本堂・客殿などの冷暖房設備が整っている					
	87	休憩場所等の整備	参詣者が境内でゆっくりできるよう、座るところや休憩所などが境内各所に工夫されている					
	88	洗面室等の整備	性別に関わらず気持ちよくお参りできるよう、男女別のトイレや更衣室などが用意されている					
	89	分煙空間の整備	寺院内は原則禁煙で、喫煙スペースが個別に確保されている					
	90	駐車場の確保	適切な数の駐車場が確保されている					
長期視点の 備え	91	災害対策	災害に備え、耐震・津波対策などが整備・実施されている					
	92	文化財保護	文化財などは適切な保存方法によって維持・管理されている					

第9条:財務の安定性

定義

長期にわたって健全な運営を実現し、檀信徒への経済負担を抑えられるよう、安定した財務管理が行われている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
適切な日常会計処理	93	金銭面の公私の明確化	お寺と住職(寺族)の財布は厳格に分かれて管理されている					
	94	日常的な帳簿記録	会計帳簿には日々適切に現預金等の動きを記録している					
	95	源泉税の支払	源泉税は適切に支払処理されている					
基本的な収支管理	96	収支計算書の作成	年間の収支計算書が作成されている					
	97	黒字の確保	年間の収支が安定的に黒字である					
	98	会計データ分析	数年間の会計データが蓄積し、経年での比較・分析を通じて、原因や改善項目などが洗い出されている					
未来志向の収支管理	99	長期修繕計画の立案	施設の建替え・修繕を含めた、長期的な資金計画が作成され、計画内容を定期的に見直している					
	100	計画的な資金貯蓄	長期的な資金需要に備えて、計画的な資金貯蓄が行われている					
	101	檀信徒への還元	充実した教化費など、収入を檀信徒へ積極的に還元している					
	102	自発的寄付による収入の多様化	檀信徒や地域住民からの自発的な寄付が、お寺の収入の一定割合を占めている					
	103	収支改善の工夫	檀信徒への経済負担を抑えるため、収入増加・経費削減を工夫している					

第10条: 堅実な管理運営

定義

宗教法人としての法令順守は当然のこと、様々な規約の整備や、情報管理の体制が整っている

中分類	小分類			自己評価				
	No.	項目名	内容	◎ できている	○ 比較的できている	△ あまりできていない	× できていない	自坊には該当しない
法令順守	104	行政への書類提出	都道府県庁への提出書類は適切に作成・提出されている					
	105	寺院規則の整備	寺院規則の各条項は、お寺の実態に合う内容として整備されている					
	106	備付け書類の公開体制	宗教法人法で定められた備え付け書類は整い、関係者の申し出があればいつでも公開できる状態になっている					
情報管理	107	情報セキュリティ	檀信徒の情報は適切なセキュリティの下で安全に整備・管理されている					
	108	プライバシー情報への配慮	檀信徒や地域住民などの有縁の人のプライバシーにかかわる情報を、みだりに口外しないよう、寺内の規範は徹底している					



安心のお寺診断

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

第 1 条

確固な理念・方針

正解 お寺が世の中や人々にどのような価値を提供するかという使命と、その使命を実現する方が明確になり、社会に共有されている

以下の質問に対し、あてはまる選択肢にチェックをしてください (第 1 条は、全 16 問)

自坊の縁起の理解

質問 ご本尊（仏さま）の願いを、現代の文脈に照らして、適切に翻訳できている



できている



比較的できている



あまりできていない



できていない



自坊には該当しない

質問 お寺が長年歩んできた縁起・寺史が明確に整備され、その意味合いが咀嚼されている



できている



比較的できている



あまりできていない



できていない



自坊には該当しない

【WEB診断の特徴】

- 数値で集計されることで、自坊の強みを発見しやすくなります
- 全国平均との比較の中で、自坊の立ち位置や強みが分かります

WEB診断はこちらから：

<https://diag.omri.jp>

※PCでの診断実施を推奨します(スマートフォンも可)
※概要把握のため、WEB診断の前に「安心のお寺診断シート」でお試しすることをおすすめします

ワーク：自坊の将来像・取り組みの検討

「ワークシート：自坊の将来像・取り組みの検討」の使い方



【ワークシートの目的】

自坊の強みを活かしたお寺の将来像を具体化すること

STEP1：自坊の強みの抽出（※ワークシートの左側）

- 安心のお寺診断シート（or WEB診断）の結果を俯瞰的に見て、特にどの条項に自坊の強みが表れているかを考え、該当する条項をチェックしましょう

STEP2：強みの具体化（※ワークシートの左側）

- STEP1でチェックした自坊の強みの具体的な内容を考えましょう
（3－5つ程度の条項に代表的な強みを絞り込むと、将来像検討がしやすくなります）

STEP3：将来像と取り組みの検討（※ワークシートの右側）

- 自坊の強みをふまえ、自坊の将来像と、将来像を実現していくための重要な取り組みを具体化しましょう

ワークシート：自坊の将来像・取り組みの検討

安心のお寺10ヶ条	自坊の強み (チェック)	強みの具体的内容
第1条：確固な理念・方針		
第2条：人柄の良いお坊さん		
第3条：まごころの供養(葬儀・法事・お墓)		
第4条：充実したエンディングサポート		
第5条：仏教の智慧に触れる祈り・体験の場		
第6条：活発なお寺コミュニティ		
第7条：慈悲の社会福祉活動		
第8条：整った施設・設備		
第9条：財務の安定性		
第10条：堅実な管理運営		



強みを活かした自坊の将来像	将来像に向けた重要な取り組み

お寺の未来のご紹介

お寺の未来 法人概要



社名	一般社団法人 お寺の未来 一般社団法人 お寺の未来総合研究所
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-25-1 光明寺内
使命	私たちお寺の未来は、一人ひとりが良きお寺と出会うご縁を育み、あなたの安心に満ちた日々の歩みを支えます
事業内容	寺社の経営・運営に関する人材育成・相談業務、サービス・商品提供 一般生活者を対象とした仏教コンテンツの開発・プロデュース 書籍・雑誌・その他各種メディア等を通じた情報発信 等
代表理事	井出悦郎 東京大学文学部中国思想文化学科卒業。東京三菱銀行等を経て、経営コンサルティングのICMG社では日本を代表する一部上場企業の経営改革、ビジョン策定・浸透、グローバル経営人材育成等、「人づくり」を切り口に経営中枢への長期支援に携わる。仏教との出会いを機縁に、当社創業。寺院向けのコンサルティング実績、執筆・講演多数
沿革	平成24年4月 寺院向け経営塾『未来の住職塾 本科』を開講(受講寺院数約700) 平成26年11月 経済的に困難な状況にあるひとり親家庭を支援する『おてらおやつクラブ』活動開始 平成28年7月 安心のお寺さがしポータルサイト『まいてら』(mytera.jp)開始 平成30年2月 一般社団法人お寺の未来総合研究所を設立(コンサルティング・調査・研究が主事業) ※その他にも様々な活動を展開(実績資料ご参照)
URL	https://oteranomirai.or.jp

仏教界において様々なご縁をいただき、着実に実績・経験を積み上げてきました

宗派・仏教界	真宗大谷派	<ul style="list-style-type: none"> 寺院マネジメント・プログラム(元気なお寺づくり講座)の企画・設計・運営、講師育成に関する包括的支援 (平成29年度までに約80ヶ寺の受講)
	浄土真宗本願寺派	<ul style="list-style-type: none"> 答申書「10年、20年後の日本社会で求められる寺院像・僧侶像」の委員会運営および起草 「『僧侶像・寺院像』を基とした人物像定義・育成体系案」の具体化 幹部職員向け寺院マネジメント・プログラム研修(全4回)の実施
	日蓮宗	<ul style="list-style-type: none"> 過疎地寺院を対象とした寺業計画策定講習
	全日本仏教青年会	<ul style="list-style-type: none"> 「現代の僧侶を考える会」の検討成果の提供に基づく、全国30ヶ所のワークショップ運営支援
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修会・講演(約200回) 寺院経営診断「安心のお寺診断」の無償公開 全国10,000名の生活者を対象とした「寺院・僧侶に関する生活者の意識調査」の無償公開
個別寺院	寺業計画作成支援	<ul style="list-style-type: none"> 全国約700ヶ寺(宗派数30超)における寺業計画書の策定支援
	コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> 複数寺院における、財務を含む寺院現状分析に基づく包括的な助言で、寺院運営の質・成果向上と、財務収支の改善を達成

【本資料の照会先】

info@oteranomirai.or.jp

※免責事項

本資料に掲載されている情報の正確性については細心の注意を払っておりますが、一般社団法人お寺の未来および一般社団法人お寺の未来総合研究所(以下、当社)は利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。

掲載されている情報のうち、過去または現在の事実以外のものについては、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断による見通しであり、様々な不確定要素を含んでおりますことをご承知おきください。



お寺の未来

